

富山県先天性代謝異常等検査事業マニュアル（第5版）について

<第4版からの主な変更点>

1 多胎児のマススクリーニングの取り扱いについて

- ・2021年10月に「先天性甲状腺機能低下症マススクリーニングガイドライン（2021年改訂版）」が公開され、その後、2022年6月に再度双胎児の取り扱いについて、追記案が示されたことに伴い、当県の取り扱いについて以下を追記するもの。

<追記内容>

①一卵性（1絨毛膜双胎）または性別一致の多胎児における再採血

- ・一卵性（1絨毛膜双胎）または性別一致の多胎児では、先天性甲状腺機能低下症マススクリーニングで陽性とならないことが報告されていることから、採血医療機関において、日齢14日までに2回目の採血を行うことを考慮する。（P7, P56）

②先天性甲状腺機能低下症マススクリーニングの結果が不一致の多胎児の取り扱いについて

- ・検査機関より、精密検査医療機関にスクリーニング陰性の児の甲状腺機能検査を行うことを考慮するよう、精密検査の依頼（様式9-5）に併せ、依頼文書（様式17）を発出する。（P9, P58）
- ・上記に伴い、様式17「多胎児のマススクリーニングの取り扱いについて（依頼）」を追加

2 精密検査結果の母子健康手帳への記載について

- ・精密検査の結果が母子健康手帳のみでは把握できないことから、R2年度の先天性代謝異常等検査事業部会で協議し、すべての精密検査の結果を母子健康手帳に貼付することとし、R3年度より精密検査医療機関に依頼しているところ。

- ・検査機関においては、精密検査医療機関に対し、母子健康手帳への記載を依頼する（P9, P58）。

また、精密検査医療機関においては、保護者の同意の上で検査結果を母子健康手帳に貼付する（P12, P59）ことを追記するもの。

- ・上記に伴い、様式16を追加するもの。

3 時点修正等

①採血医療機関（分娩実施機関）一覧（P20）

②富山県先天性代謝異常等検査事業部会委員名簿（P60）

③組織改編に伴う県担当課名の変更

（旧）県健康課 → （新）県子育て支援課